

日本工学院専門学校		開講年度	2020年度		科目名	化粧品化学	
科目基礎情報							
開設学科	環境・バイオ科		コース名			開設期	前期
対象年次	2年次		科目区分	必修		時間数	30時間
単位数	2単位					授業形態	講義
教科書/教材	基礎から応用までよくわかる！化粧品ハンドブック 第2版						
担当教員情報							
担当教員	松井 正			実務経験の有無・職種	有・研究職		
学習目的							
本講義では、化粧品科学についての実学に基づく専門力を身に付けることを到達目標とする。具体的には、本講義を受講することによって、化粧品科学の基本的な内容(化粧品の定義、種類、法規制、品質・安全性・機能性)について理解することを到達目標とする。化粧品原料化学、生理学と皮膚化学とも連動し、化粧品容器に記載さ入れている成分名とその配合目的がある程度分かるようになり、化粧品企画が立てられるようになることを目的とする。							
到達目標							
本講義では化粧品の特性（化粧品・医薬部外品の定義、種類、法規制、品質・安全性・機能性・評価）を学び、化粧品産業の全体像と課題を理解できるようになる。「問題解決の進め方」「応用化学実験」で実施するプロジェクトで、化粧品企画を立てて商品開発を遂行できるに足るだけの知識を身に付ける。							
教育方法等							
授業概要	化粧品は機能別にスキンケア化粧品、メイクアップ化粧品、ヘアケア化粧品、ボディケア化粧品、フレグランス化粧品に分類されるが、その研究開発には皮膚や毛髪の生理学・細胞生物学・生化学に加え、化粧品原料の物理化学的性質・機能性・安全性、香りや使用感触・使いやすさといった感性に関する幅広い知識が必要である。本講義では、実務経験に基づく授業を行い、化粧品・医薬部外品の役割、皮膚の構造と機能、化粧品原料・製品、品質保証などに関する実践的科目の基礎知識を習得する。						
注意点	授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーと能動的な学習姿勢で授業に参加することを求める。授業時数の4分の3以上出席しない者は取得ができない。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	90%	試験を実施する				
	小テスト						
	レポート						
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
	その他						
授業計画（1回～8回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	化粧品とは			化粧とはなにか、化粧品の定義・種類・現在の状況などがわかるようになる			
2回	化粧品の法規制			化粧品と医薬部外品の定義、製造販売業と製造業の違い、全成分表示と原料規格などがわかる			
3回	化粧品の表示と広告			表示と広告の基本ルールがわかる。適性広告ガイドラインについて理解できる			
4回	化粧品原料			化粧品原料の概要がわかる			
5回	化粧品の品質保証			化粧品と微生物の基本が理解でき、微生物管理手法、化粧品原料と品質保証の基本についてわかる			
6回	禁止成分と危害事例			禁止成分と危害事例について概要を理解できる			
7回	新規原料と製剤化			新規原料の製剤化事例について理解できる			
8回	化粧品の評価方法			化粧品を評価する項目と方法について理解できる			